

通し no.	指摘項目	意見	意見に対する各課の対応	修正(案)
1	主要施策 1 子育て支援 (1)現状と課題	「現状」の1つ目の項目にある「子育て支援制度の認知度が低下」と3つ目の項目にある「ファミリーサポートセンターの援助を受けたい登録者および利用実績が減少」はなぜか。満足いく程足りているのか、何か足りないのかの部分に対する考察と対応が必要ではないか。	・参考としている令和2年度に実施した定住意識アンケート調査の対象者が、全世代(10代～70代以上)の男女であることが、認知度の低下に影響しています。ちなみに、令和2年度に実施した「市内7か所の子育て支援センター利用者アンケート」によると、利用者の96%が「満足している」という結果となっています。この結果を踏まえ、リーフレット等を用いて、幅広い世代に子育て支援制度が認知されるよう努めます。 ・ファミリーサポートセンターの利用実績の減少は、3歳未満児で入園する子が増加しているため、日中のファミリーサポートセンターを利用する必要がなくなったことにあります。加えて、新型コロナウイルスも大きく影響しています。しかしながら、サービスを提供する会員は減少傾向にあるため、子育て情報誌・市報・リーフレット等を用いて、会員確保に努めます。	
2	主要施策 1 子育て支援 (3)成果指標	「子育て支援制度を認知している市民の割合(アンケート調査)」について、最終目標70%という数値の適正性は。	・参考としている令和2年度に実施した定住意識アンケート調査の対象者は、全世代(10代～70代以上)の男女であるため、子育てに直接携わっていない方も含まれていることから、70%という数値は妥当と考えます。	
3	主要施策 2 子どもの教育 (2)施策の内容	③の2つ目の項目に、「学外の居場所・学びの場の開設支援等」とあるが、地域か、学校や関係機関等か、民間企業か、こういった方向性なのか。	地域、学校、関係機関の協働による活動を支援する方向です。	
4	主要施策 5 生涯学習	支援する立場の公的重要性をしっかりと把握する旨の明言が必要ではないか。	公的な立場としての支援の内容については、(2)施策の内容から読み取ることができると考えるため、計画は案のとおりとさせていただきます。	
5	主要施策 6 生涯スポーツ (3)成果指標	「スポーツ・ツーリズムイベント参加者数[年間]」について、現状148人から最終目標1,000人となっているが、5年で6.7倍となっている最終目標でよいか。	新型コロナウイルス感染症の影響により、「たいない高原マラソン」や「ツールド胎内」等のイベントが中止となったため、現状の数値が148人となっておりますが、マラソン等を開催した場合の人数を含めると最終目標の1,000人に近い参加者になると予想しています。	

通し no.	指摘項目	意見	意見に対する各課の対応	修正(案)
6	主要施策 13 農業振興 (3) 成果指標	「農業所得者の一人当たりの所得額」について、5年で5割増しとなっている最終目標でよいか。	「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」で掲げる目標を成果指標としていましたが、令和3年9月に当該構想が改訂され、目標年度が先送りとなったことから、後期基本計画の最終目標も変更します。	(3) 成果指標 農業所得者の一人当たり所得額 最終目標(令和8年度) 4,000千円→3,395千円
7	主要施策 15 観光・交流	市の名前や特産を、連呼させる・認知いただく取組は。	(2) 施策の内容の④「効果的・効率的な情報発信」の項目内容で取り組むこととしております。	
8	主要施策 24 市民協働	市職員の市民協働に対する意識の醸成が必要ではないか。	市民協働に対する市職員の意識の醸成については、総合計画の実現に向けた市の改革事項として年度内に策定する予定の「第4次胎内市行政改革大綱」に位置付ける予定です。	
9	主要施策 25 広報・広聴 (1) 現状と課題	「現状」の5つ目の項目について、「市民アンケートでは、市民の意見や要望が現在の市政に「反映されている」と答えた人は19.8%と多くなっています。」とあるが、19.8%の数値をなぜ多いとするのか。	平成27年12月に実施した前回の総合計画策定のための市民アンケート調査の数値が17.8%であり、今回の調査の数値(19.8%)と比較し増加したことを記載したのですが、分かりにくい内容であったため、修正します。	令和3年9月に実施した総合計画策定のための市民アンケート調査では、市民の意見や要望が現在の市政に「反映されている」と答えた人は19.8%で、前回の同調査(平成27年12月実施:17.8%)と比較すると、やや増加しています。